

オカトラノオ

日当たりのよい山野の草地に生えます。人家周辺の丘陵地から山の草原まで分布は広い。どこでも数本まとまって生え、高さは1メートルほどになります。

花の先端はだらりと垂れ下がり、この状態がトラの尻尾に見えることからこの名前がつけました。条件がよいと1年でかなり増えます。



ウツボグサ

花穂の形が矢を入れて腰にくくりつれる鞞うつぼに似ているのでこの名前がつけました。乾燥させたものは、夏枯草かこそうと呼び利尿薬として使われます。

日当たりのよい山野の草地に生え、高さは30センチほどになります。かつてはいたる所で見られていましたが、最近では数が減りつつあります。



広報

カナダ

Kanada Town PUBLIC RELATIONS



日王山 歩き

日王山の自然と史跡を訪記

文／福田 昌

日王山(日毛山)は、自然と史跡いっぱいの山です。4月18日と19日、旅のガイドと共々春の自然を探るため「ワクワクゆるゆ〜な道」の北側遊歩道から日王山に昔の歴史を考察しました。

サクラとイロハモミジの新芽が 陽の光りに輝いていた……

遊歩道の両側には、植樹しているサクラとイロハモミジの新芽が陽の光に輝いていた。少し登ると木下にスマレ・タチツボスマレの紫の花。クサイチゴの白い花が可憐に咲いている。やぶの中にはタラの木があり、新芽はおいしい山菜です。

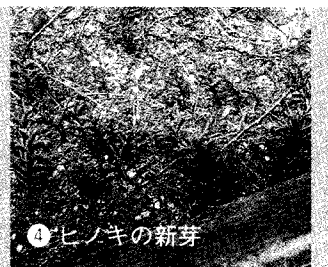
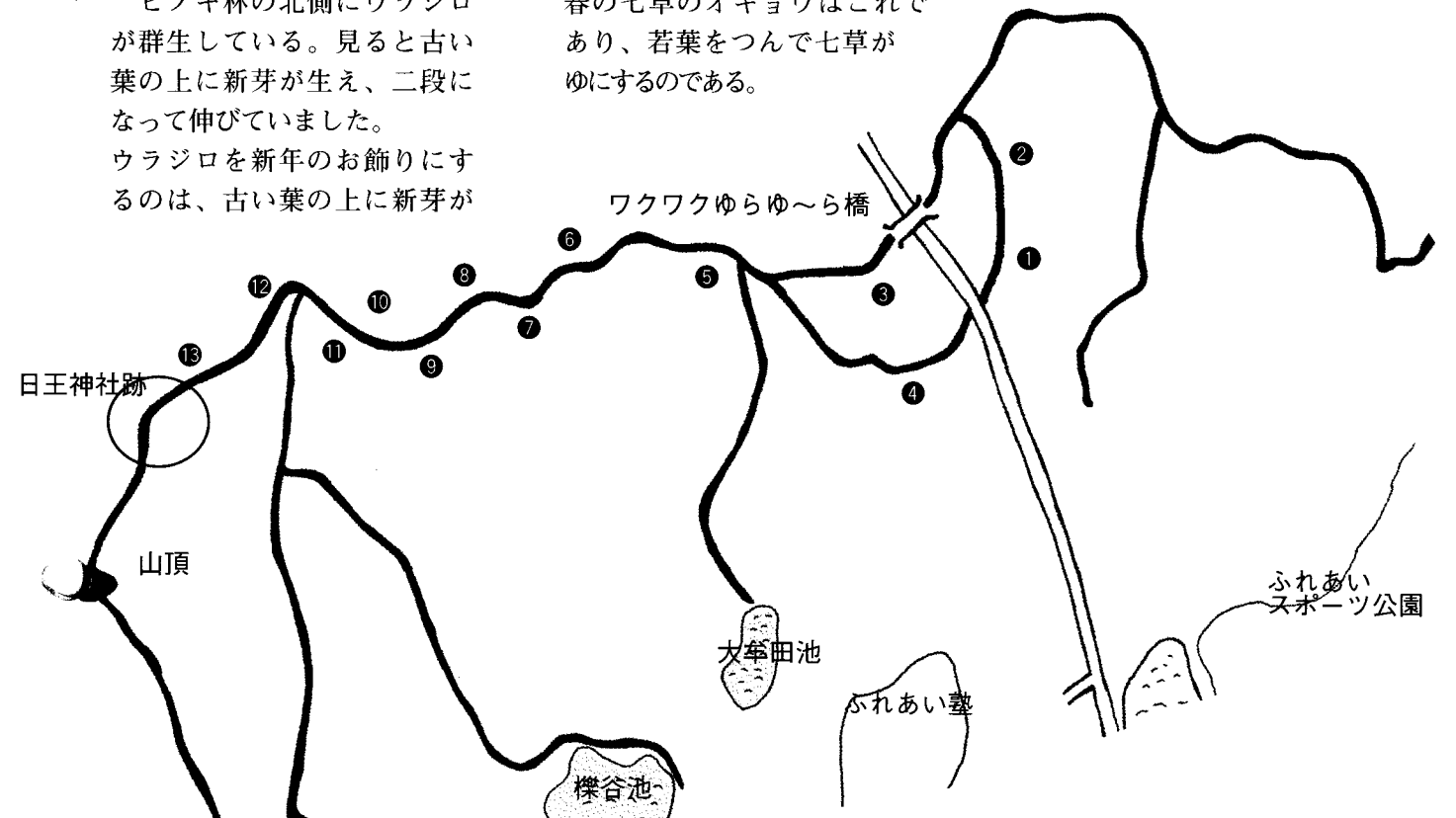
ヒノキ林の北側にウラジロが群生している。見ると古い葉の上に新芽が生え、二段になって伸びていました。ウラジロを新年のお飾りにするのは、古い葉の上に新芽が

伸び、その翌年にはまたその上に新芽が伸びるという性質があるから、人々はこれは「目出度い」植物であることから、お飾りに利用しています。

ワクワクゆるゆ〜ら橋を渡って、がけの下の地面を見るとハハコグサが群れて咲いている。春の七草のオギョウはこれであり、若葉をつんで七草がゆにするのである。

ハハコグサの黄色い花に混じってチチコグサが小さく目立たない花を咲かせているのが面白い。

それから南側の階段を上っていくと、平らなところにヒノキの若い葉が見られる。植林したヒノキの種子が落ちて発芽したものである。



1 クサイチゴの花と実
人家周辺から山地まで、日本でいちばん量が多いだろう。花は冬に返り咲くこともある。

2 クサイチゴの花と実
食用のイチゴの原種。熟した実がたくさんあっても手を出す人はいないが、とても美味しい。

3 ハハコグサ
草全体が白い羊毛におおわれているのでよく目立つ。黄色の粒々は筒状の花が集まっている。

4 ヒノキの新芽



尾根に沿って進むと、西側はコナラ(ドングリ)・ムクノキ・シロダモ・クロキ(ハイダラ)などの原生林がある。

それらにからみつくようにヤマフジのつるがあり、短い房ですが濃い紫色の花を咲かせている。

さらに進むとカマツカ・ネジキ・ヒサカキ・ヤマモモなどの

50メートルほど登ると 小高くなった平地に出る… ここが、日王神社跡だ……

木々が並び、それにムベヤアケビのつるがからんで花を咲かせている。秋には太い果実が見られるだろう。

陽のよく当たるところにヤマハゼやヌルデが生息しています。アレルギー体質の人はふれると皮膚に発疹して「かぶれる」ことがあるので注意が必要だが、秋になると紅葉して山を彩る木なのである。

ヒノキ林の西側にはシダ植物のコンダが群生している。また所々にイヌザンショウが見られる。これはサンショウと似ているが、香りがなく樹皮の変化した棘が交互に出ているのですぐに分かる。サンショウは棘で対生していて、新芽の香りでよい。林の中からシュンランを見つけたと声がする。

落葉の中に小さな紫色の花を見つけた。フデリンドウである。つぼみのときと夜間、花が閉じているときは、筆のように見える。この辺りには新芽の赤いアカメガシワやタブの木が育っている。

カゴクキ・ヤマモモ・コナラ・クリ・タブの木々が茂る林を西に、急な坂道を上る。途中、左右に花崗岩の切石が見られます。50メートルくらい登ると一部が小高くなった平地に出る。

この辺りには大小の礎石群と、仏像を線刻した長さ2メートル、厚さ35センチの日王殿といわれる巨石が、大穴に倒れている。

分類が極めてむずかしいテンナンショウ属の一つ。草原や林の中などに生え、外側からは花は見えない。



日王殿

ここが伝承による日王神社・日尾山常楽寺の跡である。このことについては、広報カナダの5月、6月号に町史編さん委員の池長一利さんがくわしく記述している。

岩に刻まれていた磨崖仏ではないだろうか。

ここは平安時代、鎌倉時代、戦国時代と変遷を繰り返した宗教遺跡であることはまちがいない。この平地の隅にマムシグサ



日王殿西側斜面の大岩
表面には、磨崖が刻まれている

と呼ばれる天南星科の花が気味悪く咲いていた。

ここから200メートル登ると日尾山頂。山頂に立つと眺望はすばらしい。南に英彦山、東に香春岳と福知山系、北に帆柱山を望み、田川盆地から遠賀平野が見渡る。残念なことに、ここに設置されている鳥瞰案内板が2枚とも人の手により

この辺りを探索していた委員が、日王殿の西側斜面に点在する大岩を数個発見した。これについては今後の調査が必要だが、岩の表面に風化している仏像を見ることができる。

破壊されている。破壊した人の神経を疑うが、壊すのは一瞬であり、建設や復旧は簡単ではない。山の自然や備え付けられている物を大切にしたいものだ。

山頂南側斜面のヒメハギを鑑賞して、いったん200メートルの斜面を南木側に下り、櫟谷池へと向かう。

途中、ネザサの花を見て日陰の谷間を通る。そこにはゼニゴケ、クラマゴケ、スギゴケが群生し、ワラビやゼンマイが育ち、チゴユリが咲いていた。フユイチゴの茂る谷間を下ると池の西側に出る。池の周囲には大木が残っている。アラカシ、シイノキ、タブノキなどである。できれば切らずに残してほしいものだ。

1か月後の5月17日に再び登った。春に咲いていた花はすべて散り、木々の新芽はすべて濃い緑の葉へと変わっていた。木々の間からウグイスとホトトギスの鳴く声がしきりに聞こえた。やがて夏の日尾山となっていく。



リンドウは秋の花のイメージが強いが、春に咲くものの中の代表的の一つ。花は日が照っているときだけ開き、雨や曇りの日には閉じている。

夏の日王山を歩いて見ませんか

日王山の自然と宗教遺跡探訪会

●日時 7月12日 9時出発

(12時に下山予定)

●集合場所 ふれあい塾駐車場

まちづくり委員会では、7月12日に「日王山の自然と宗教遺跡探訪会」を行います。小学生以上の方ならどなたでも参加できます。8時30分にふれあい塾駐車場に集合してください。筆記用具とビニール袋などご持参ください。

中村五段、錬士を射止める

6月8日、熊本県国体道場で行われた錬士称号審査(全日本弓道連盟主催)において、人見にお住いの中村正二さんが、五段錬士の称号者になりました。

この錬士称号審査には、全国から集まった約250人が受験。合格者20人という狭き門を中村さんは見事に突破したのです。錬士称号の資格は、弓道の先生の資格を得たということで、今後は指導者として活躍されるそうです。

また、7月6日(会場/町民会館)の10時から行われる「郡民体育大会弓道大会」では、矢渡し式という儀式に中村さんが射手を務めます。昨年の大会では金田町は優勝し、今回二連覇を目指します。町民の皆さんの応援をお願いします。

中村さんの所属する「金田町日之王弓友会」では、常時会員を募集していません。初心者の方、大歓迎です。道具などは会の方で準備しています。連絡先は、同弓友会々長、松山範昭さん(☎22-0173)まで。



あなたの近な行事
お知らせします

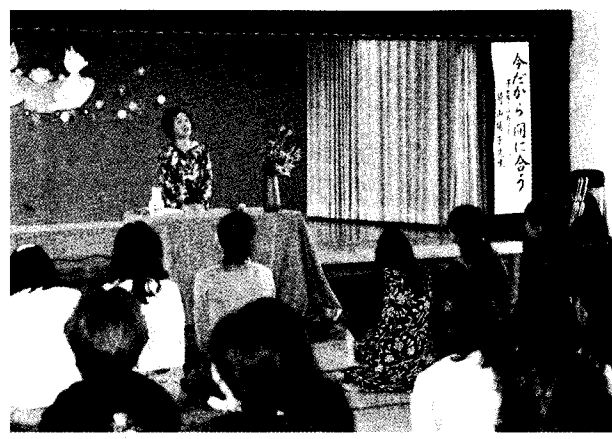
いまだから、間に合う子育てって?

上金田保育所で子育て講演会

親子のかかわりの大切さを知ってもらおうと、5月24日、上金田保育所では保育参観日終了後、「いまだから間に合う」と題した子育て講演会が行われました。

この講演会は、子育てのあり方について専門家である、田川市社会福祉協議会の家庭教育相談員の崎山陽子さんを講師に行われました。

「親が変われば、子どもが変わる」のだと、崎山さんの豊かな表現とユーモアで時間のたつのも忘れ、集まった父母らは熱心に聞き入っていました。



町に三つの賞が贈られました

平成9年度福岡県同和問題に関する啓発広報コンクールで佳作。福岡広告協会のアーバンアド部門で金賞。そして、社団法人 照明学会照明普及賞の九州支部表彰の三つが金田町に贈られました。

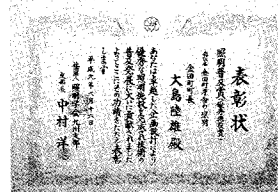


同和問題に関する啓発広報コンクールでは、昨年9月に小、中学校の生徒から人権問題に関するポスターと標語の優秀作品を人権啓発カレンダーとして製作。その作品に対して、5月27日に福岡県知事から佳作が贈られたものです。

また、福岡広告協会表彰式は、6月9日(西日本新聞本社ビル)に行われ、新聞やテレビ・ラジオCMなどの各9部門にそれぞれ賞が贈られました。町が受賞したのは、アーバンアド部門。この部門にはソラリアプラザのショーウィンドなど19点が応募。その中で町内各地に設置されているゲートサインや学習サインなど、「サインからはじまったまちづくり」が高く評価され、金賞を受けました。

照明普及賞は、6月16日に福岡市電気ビルで行われ、九州各県内施設から本部表彰8点、九州支部表彰20点に賞が贈られました。

金田町は庁舎議事堂の照明と玄関ホールの照明が評価され、九州支部表彰20点の一つになりました。



古文書・絵画・書籍・骨とう・古い写真を探しています。

いま、来年春の発刊を目指し、10数人の委員でチームを編成して「金田町史」編さんの執筆活動を行っています。

今回の「金田町史」は、歴史学者などの力を借りずに、町民参加の手作り町史を編さん目的に作業を進めています。

この町史に掲載する次のような品物をお貸しく下さい。

皆さんのご家庭に大切に保存している古文書・絵画・書籍・骨とう・古い写真、後世に伝え残したい物。特に、戦前・戦後の農業作業風景、戦後の食糧難を表す写真。また炭坑の採炭、選炭、運炭などの労働写真や、繁栄期にわたる商店街風景や一大行事。災害の様子などの写真を探しています。

ご連絡いただければご自宅まで伺い、大切に扱わせていただきます。

皆様のご協力をお願いします。

連絡先 社会教育課内「町史編さん室」

☎22-2200

木管三重奏に心もスイング

金田保育園で親子音楽教室

金田保育園では、日本フィルハーモニーの楽団員を招いて「ミニ・コンサート親子音楽教室」が6月9日に行われました。

このミニ・コンサートは、生の演奏を聴いてもらい、子どもたちや父母らに音楽の楽しさ、すばらしさに触れてもらおうと今回で6回目。この日は、オーボエ・ファゴット・クラリネットの木管三重奏で、クラシックなどの曲を1時間余り、園児たちのほか父母ら約100人が楽しみました。

また、同日の夜には「お堂コンサート～木管三重奏とワインの夕べ～」も催され、木管楽器の音色にゆったりとした時間が園舎に流れていました。



緑をいっぱい

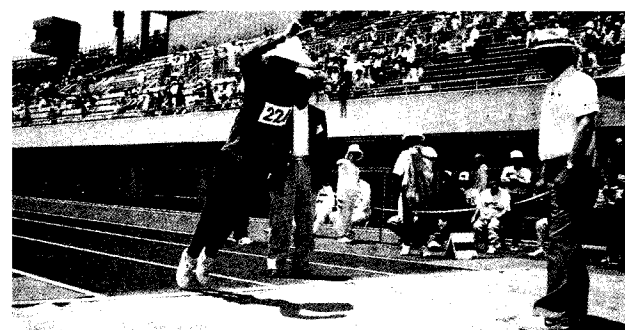
小学校福祉委員が募金活動

6月6日、金田小学校福祉委員会会長の辰島 賢くんと副会長の木下真治くんの二人が町を訪れ、「ぼくたちが集めたお金で、町をもっと緑いっぱいにしてください。」と、助役に募金活動で集めた11,313円を手渡しました。

この募金活動は、(財)福岡県緑化推進機構の「緑の募金」の一環として、小学校福祉委員会が中心となって4月から5月まで学校内で集めたものです。

平成9年の「緑の募金」は、町内全体で約110万円が寄せられました。この募金は、公共施設などの植樹や花いっぱい運動の各地区への助成金に充てられています。今年も「金田町緑づくり推進協議会」で、寄せられた募金の活用方法が決められます。





県身体障害者体育大会

第35回福岡県身体障害者体育大会が5月25日、博多の森陸上競技場で行われ、陸上、水泳など29種目の競技に56団体846人の選手が参加しました。

田川郡選手団の一員として金田町からも6人の選手が出場し、好成績を収めました。ソフトボール投げで出場した相原義親さんが2位入賞。この大会で優秀な成績を収めた人は、福岡県代表として11月、大阪で行われる全国身体障害者体育大会に出場します。

元助産婦の田村さんに感謝状



福丸にお住いの元助産婦として活躍された、田村キヨノさんに金田町から表彰状と記念品が贈られました。

田村さんは、母、春永マサエと親子二代にわたって助産婦として活躍され、金田町のほか近隣町の新生児約1万7千人を取り上げ、その功績に対して町から感謝状が贈られたものです。



河川がはらん。

本番さながらに水防水難救助総合演習

梅雨入りした発表された6月8日、彦山川、高柳井せき上流の河川敷で、水防水難救助総合演習(田川地区消防本部が主催)が行われました。

この日は、同本部署員と田川市郡の消防団員など約250人が参加。演習は、英彦山に集中豪雨が降り、彦山川が増水して田川市内の各所がはらんしたという想定で行われました。

金田町消防団を代表して10人が、他町消防団員と協力して川岸での土のう積みを行い、本番さながらに熱心に取り組みました。

犬養民生委員さんに 厚生大臣表彰



民生児童委員総務として活躍されている、犬養光博さん(福吉)に6月10日、厚生大臣特別表彰が贈られました。

犬養さんは、民生児童委員として昭和46年12月から25年間、地域社会福祉に貢献し、その功績に今回表彰状が贈られたものです。

犬養さんは、「わたしが福吉に移り住み、委員となった当時と比べてずいぶん様変わりしましたね。貧困による生活相談がほとんどだった時代と比べ、いまでは老人問題、子ども問題の相談や課題が多くなってきています。表彰を受けて初めて25年間もやってきたと思うぐらいで、あっというまでした。これからも委員の総務として、町全体の地域福祉の貢献に努力していきます。」と語っていました。



紹介街

二軒目



今回は、新町の「暮らしの店ミムラ 三村本店」さんをご紹介します。

「暮らしの店」って？

昔は「三村金物店」で通っていました。けれども実際扱っている商品が、鍋やヤカンといった金物のほかに、茶碗にお皿・グラスなどの陶磁器類、ホウキや台所回りといった日用雑貨、お茶や仏神具、さらに園芸の肥料や各種ご進物と、生活全般にわたっていて、従来の「金物屋」のワケでは当てはまらなくなったので、10年前の改装のときに、日常生活に必要な物をサービスしていこうと「暮らしの店」をかかげたのです。

業界の流れは？

大型化・郊外化という小売業界一般の流れがこの業界でも顕著ですね。いわゆる金物類はホームセンター、日用雑貨はドラッグストアやディスカウントストア、結婚祝や御歳暮などの進物はギフトセンターと言った具合に。

田川でもバイパス沿いに多く見られます。品揃えも豊富で結構なのですが、生活関連用品は日常生活の中から必要が生まれるものです。そのたびに、バイパスまで行くのは大変ですよ。やはり小回りの利く

このコーナーは、町の商店を紹介して知ってためになる暮らしのワンポイントや、お得なサービスを提供していただくコーナーです。

地元を越したことはありません。小規模でも、価格・品揃え両面をいかにお客さんに満足していただけるかを販売店仲間と研究しています。

もう一つ販売店仲間と問題になっているのがゴミです。以前から目立ってきた家庭金物、鍋やフライパン・ポットなどの廃棄物が、このところ全国的にずいぶん増えています。価格競争の激化で安価になったのは良いことなのですが、その分愛着が薄れたのでしょうか。

使い捨てられる方が増えたようです。家電製品などはメーカー回収などが検討されていますが、金物類は単価が安いせいもあって業界に目立った動きはありませんね。逆に、特価品などは耐久性が落ちているのが現状です。当店では、できる限り信頼性のあるものをサービスしていく方針です。消費者の皆様も、愛着のもてる品を、長く使っていただきたいと思います。

何か生活のワンポイントを教えていただきたいのですが

猛暑の季節が目の前です。どうせなら「夏を楽しむ」生活を送りたいですね。

いまやクーラーは欠かせませんが、昔ながらのヨシズヤスタダもいいですよ。窓や室外機、壁の薄いところに立てかけて直射日光を遮ると、クーラーの効率はグッと上がります。朝夕の涼しい時間帯は、むしろ自然の風を楽しみたいですね。

風鈴一つ下げるだけで風呂上がりのピールが2割(?)は美味しくなりますよ。見た目に涼しいガラスや竹の器も、夏こそ活用したいですね。

読者に何かサービスを

梅雨が明けると、もうお中元のシーズン。そこでどなたに送っても喜ばれる「べに花油」のギフトセットを標準価格の25%引でサービスします。

(田川市郡内は無料配送)「広報読みましたよ」と、気軽に声を掛けてください。



次回は「生鮮館はやし」さんをご紹介します。